

臓器提供施設 連携体制構築事業

臓器提供に関する情報提供（選択肢提示）

実施状況報告書 集計用ツール

ご利用マニュアル



公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

〔2024 年度版〕

目次

1. マクロ（Excel）とは.....	2
2. 注意事項.....	3
3. ファイルのダウンロード.....	4
4. ファイルの開き方	6
5. 症例の追加方法	12
6. PDF への変換方法	16
7. サポートについて	20

1. マクロ（Excel）とは

マクロは、Microsoft Excel において利用可能な自動化機能を提供します。これは、繰り返し行われる作業や複雑な操作を簡素化し、効率的に行えるよう設計されており、データの入力、編集、書式設定、計算、グラフの作成といった多岐にわたるタスクの自動化を可能にします。マクロを利用することで、データ処理の一貫性を高め、作業プロセスを効率化し、Excel をよりパワフルなツールとして活用することができます。

本マクロツールは、症例データの入力手順をフォームベースで再設計し、直感的に操作可能なユーザーフォームを導入することで、入力の負担を軽減します。また、症例に応じて必要な情報のみを入力するよう促す機能を備えており、作業の効率化を図りつつ、時間および労力の節約に貢献し、ヒューマンエラーの可能性も低減させます。

2. 注意事項

2.1. セキュリティ

- ・**セキュリティ設定**：Excel でマクロを実行する前に、ファイルが信頼できるソースから提供されていることを確認してください。セキュリティリスクを避けるため、不明なソースからのマクロファイルは開かないようにしてください。
 - ・**実行前の確認**：マクロを実行する前に、マクロの内容を確認し、その動作を理解しておくことを推奨します。
 - ・**サポートされない機能**：JustCalc やその他の Excel 以外のスプレッドシートアプリケーションでは、Excel のマクロ機能や VBA スクリプトがサポートされていないことがあります。
- バックアップ**：マクロを含む重要なファイル进行操作する際は、作業を開始する前に必ずバックアップを取ってください。

2.2. システム要件

- ・**互換性**：本ツールに含まれるマクロは、Microsoft Excel 環境でのみ動作を保証します。Apple Numbers、JUST Calc やその他のスプレッドシートソフトウェアとオンラインサービスでは、これらのマクロを正しく実行することができない場合があります。
- ・**バージョン**：Microsoft Excel 2016 以降のバージョンでの使用を推奨します。より古いバージョンの Excel では、一部のマクロ機能がサポートされていない可能性があります。
- ・**OS**：Windows 10 以降または macOS Mojave (10.14) 以降のオペレーティングシステムを推奨します。

2.3. 禁止事項

このツールは自由にカスタマイズ可能ですが、以下の操作はマクロの正常な動作に影響を与えるため、特に注意が必要です：

- ・ 既存のシート名を変更すること。
- ・ 既存の列名を変更すること。
- ・ 既存の列を削除すること。
- ・ 表の 1 行目にある例を削除すること。
- ・ 表（テーブル）を範囲に変換すること。

3. ファイルのダウンロード

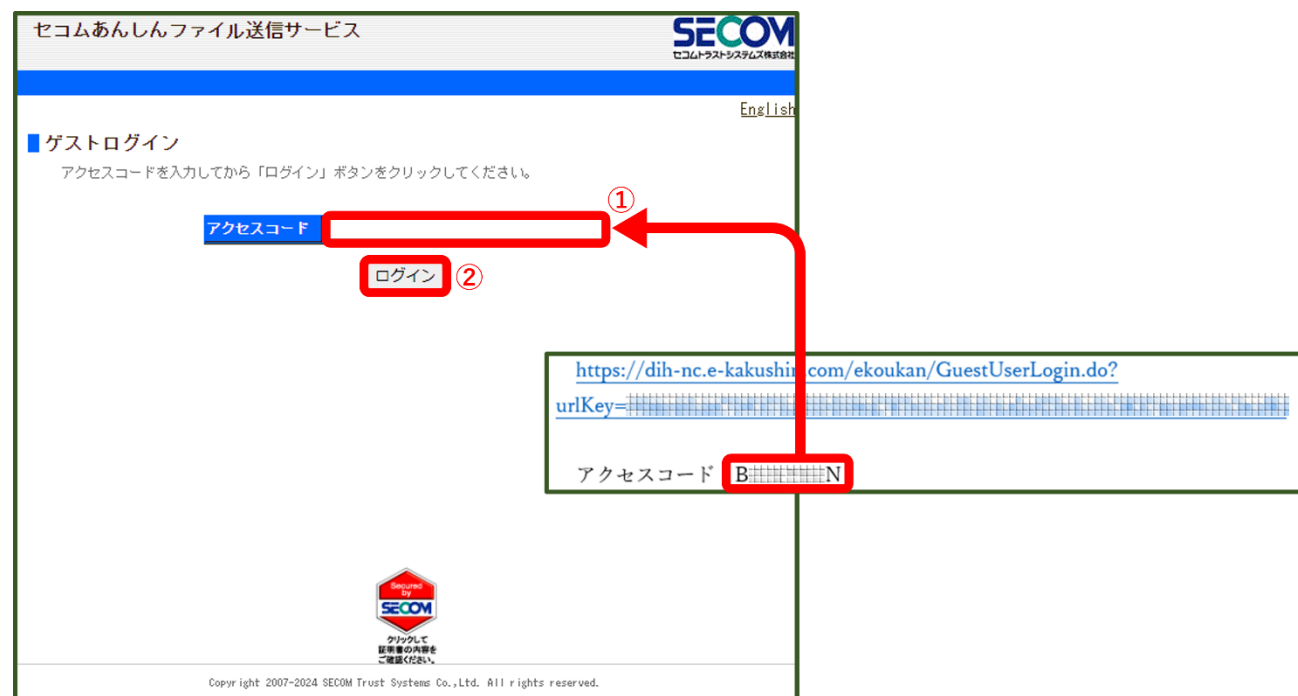
3.1 セコム安心ファイル送信サービス

メールに記載されている URL から「セコム安心ファイル送信サービス」へアクセスしてください。
URL がハイパーリンクとして表示されている場合は、直接クリックしてアクセスできます。セキュリティの設定により URL がテキスト形式で表示されている場合は、まず「メモ帳」などを使用して URL を一行に整理してください。その後、ブラウザ（Chrome、Edge、Safari など）の検索欄または URL 欄に貼り付けてアクセスしてください。



3.2 アクセスコードの入力

メールに記載されたアクセスコードを入力した後、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



3.3 ファイルのダウンロード

ファイル名を確認し、「全て選択」ボタンをクリックした後、続けて「ダウンロード」ボタンを押してください。

セコムあんしんファイル送信サービス
ご契約先:公益社団法人日本臓器移植ネットワーク

ログイン有効
期
限:2024/03/19

SECOM
セコムトラストシステムズ株式会社

アップロードする

ログアウト

■ ダウンロード一覧

ダウンロードしたいファイルを選択し「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

フォルダ名	選択肢提示の実施状況報告書 (サンプル)				
フォルダ説明					

①

全て選択

全て解除

	選択	アップロードファイル名	ファイル内容	ファイル サイズ	ダウンロード 実施
1	<input type="checkbox"/>	12 (別紙3) 選択肢提示の実...		1.0MB	

②

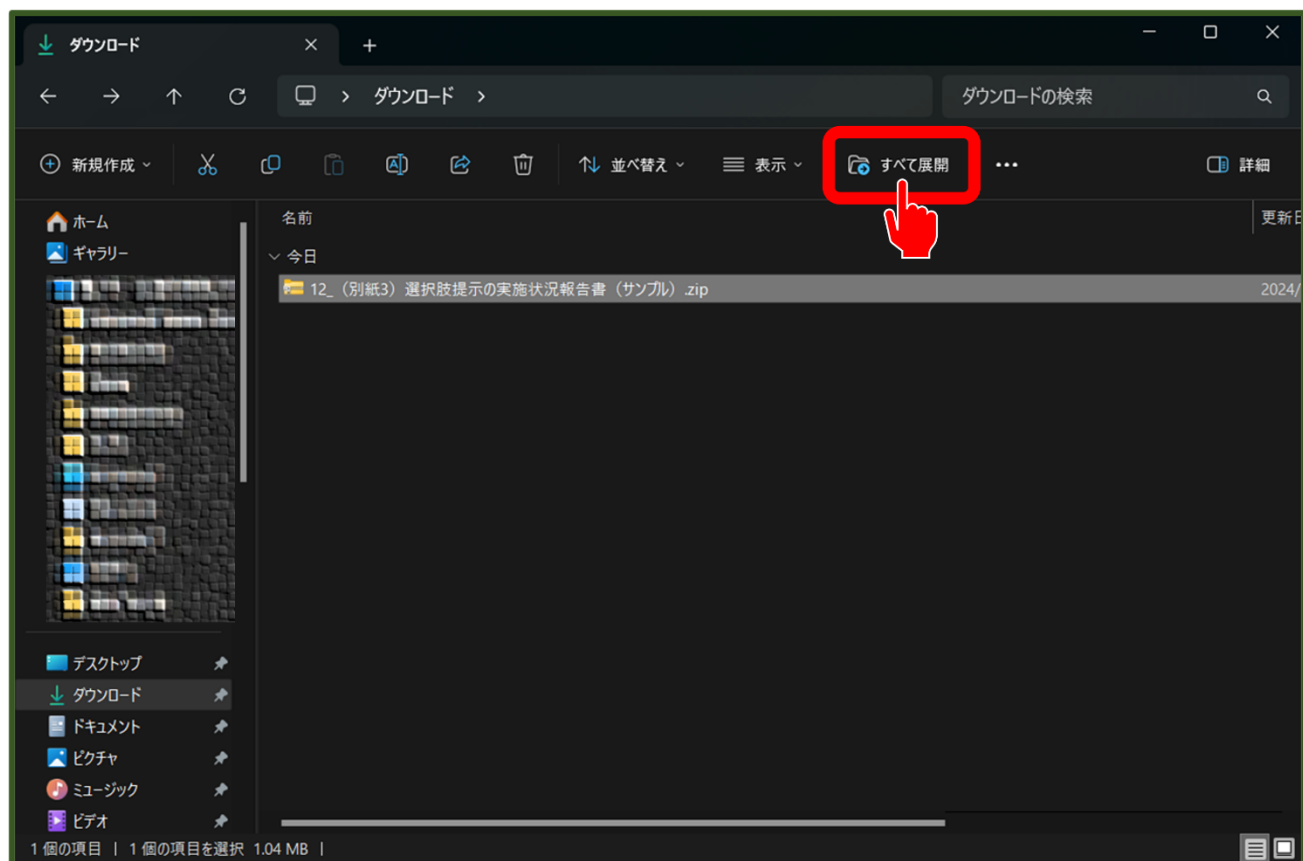
ダウンロード

Copyright 2007-2024 SECOM Trust Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

4. ファイルの開き方

4.1 *.zip ファイルの展開

ダウンロードした ZIP ファイルを選択し、ツールバーの「すべて展開」ボタンをクリックしてください。
または、ファイルを右クリックすると同様のオプションが表示されます。



ファイル圧縮ソフトを使用している場合は、「解凍」などのオプションを選んでファイルを展開してください。

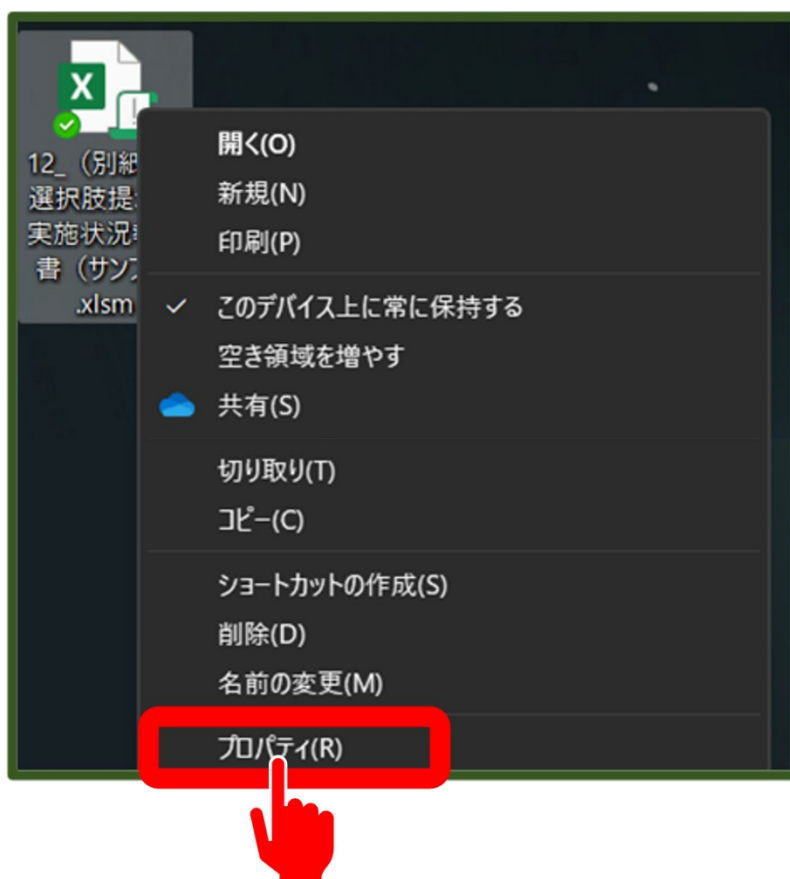
4.2 *.zip ファイルの展開場所

「すべて展開」をクリックした後、表示される「参照」ボタンを使って、ファイルを展開したい適切なフォルダを選択してください。何も変更しない場合、展開されたファイルは元の ZIP ファイルがあるフォルダに自動的に保存されます。



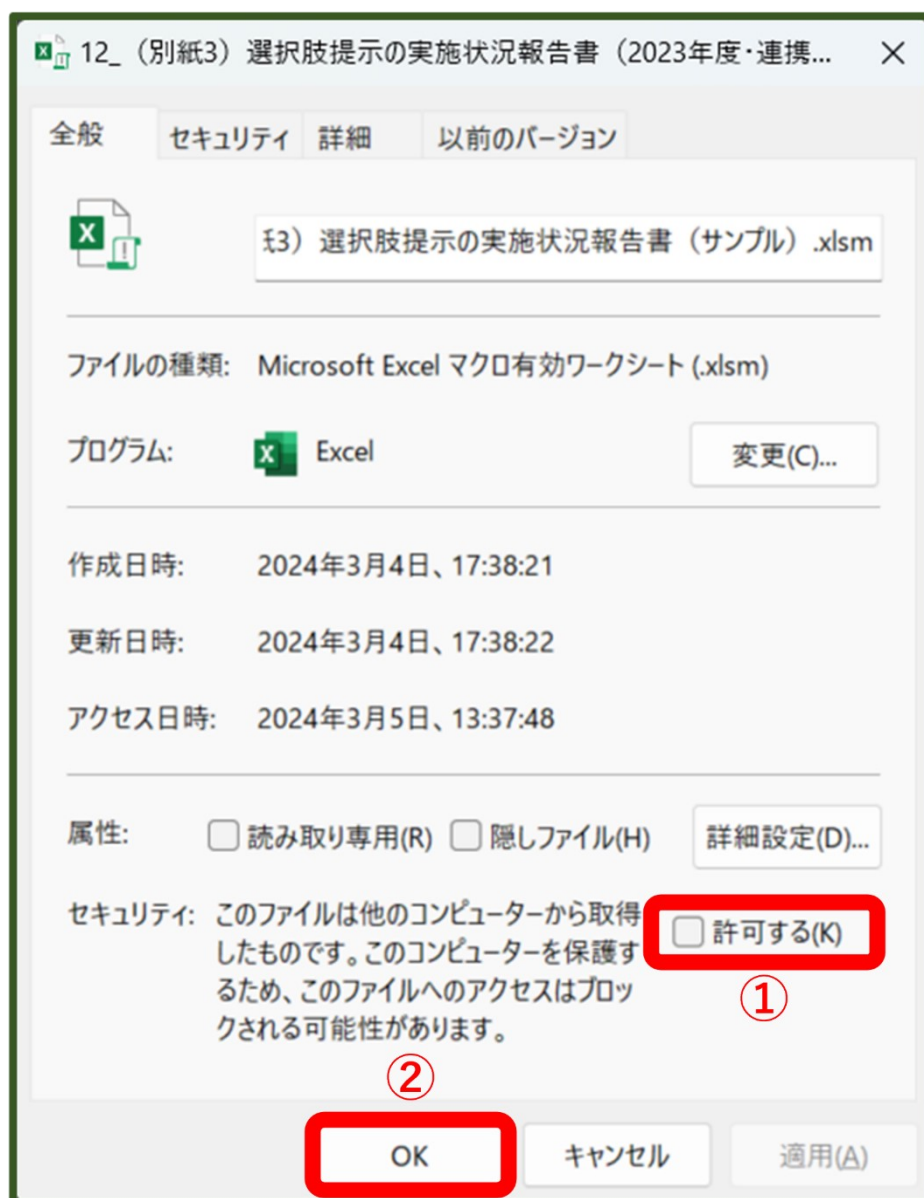
4.3 ファイルのプロパティ

展開したファイルを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択してください。



4.4 ファイルのセキュリティ設定

「プロパティ」ウィンドウの「セキュリティ」タブを開き、「許可する」や該当するセキュリティオプションにチェックを入れた後、「OK」をクリックしてください。



このオプションが表示されない場合は、この手順を省略してください。

4.5 コンテンツの有効化

ファイルをダブルクリックで開いた後、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the 'Content Activation' button highlighted. The spreadsheet contains the following table:

入院月	GCS3/JCS300 を認めた症例	情報提供を行わなかった理由								情報提供率	情報提供率（参考） （その他の臨床的に適応外の症例を除いた場合）	情報提供も実施した症例の詳細			
		A	B	C	D	E	F	G	H			I	J	K	L
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0
合計数 (7月~12月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例なし	0	0	0

対象月の入院患者を対象とする。月替わりの段階ではまだ転帰確定していない患者も多いと思われるので、転帰が分り次第対象月に記載してください。
 （例 7月入院、8月に転帰確定した場合の症例は7月の症例としてカウントしてください）
 ※GCS3/JCS300症例リストに追記していくと自動集計されるように設計しておりますが、患者リストを使用しない場合には各自で集計されたものを直接打ち込んでください

4.6 編集の有効化

「編集を有効にする」と表示されている場合、そのオプションをクリックして次のステップに進んでください。

自動保存 ☐ オフ 12_ (別紙3) 選択肢提示の実施状況報告書 (2023年度・連携体制構築事業・各事業参加施設用).xlsm - 保護ビュー - この PC に保存済み

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ Costum

① 保護ビュー 注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がある場合は、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。 **編集を有効にする(E)**

臓器提供に関する情報提供の状況報告書 (施設用)

【施設名】 【対象】 ☐ 病院全体 ☐ 特定の診療科に限定

入院月	器質的脳障害を伴う GCS3/JCS300 を認めた症例	死亡した(治療中の患者は経過中)患者のうち 瞳孔径<4mm・ 対光反射消失・ 自発呼吸消失の所見を 認めていた患者	臓器提供に関する 情報提供	情報提供を行わなかった理由					情報提供率 (B / (A + (C or D)))	情報提供率 (参考) (その他の臨床的に の症例を除いた場
				明確な除外基準あり (活動性感染症・悪 性腫瘍・法的制死判 定除外例・司法解剖 前・その他等)	脳死とされうる状態 と診断されなかった (脳幹反射あり、脳 波あり等)	除外基準あり または 脳波・脳幹反射陽性	その他の情報提供を 行わなかった理由	その他の理由の内訳 (高齢 n例、多臓器不 全 n例、バイタル不安 定 n例 等)		
	A	B	C	D	C or D	E		C or D or E	B / (A + (C or D))	B / (A + (C or D or E))
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例
合計数 (7月~12月)	0	0	0	0	0	0	0	0	対象症例なし	対象症例

対象月の入院患者を対象とする。月替わりの段階ではまだ転帰確定していない患者も多いと思われるので、転帰が分かり次第対象月に記載してください。
(例 7月入院、8月に転帰確定した場合の症例は7月の症例としてカウントしてください)

※GCS3/JCS300症例リストに追記していくと自動集計されるように設計しておりますが、患者リストを使用しない場合には各自で集計されたものを直接打ち込んでください

集計版報告書 (提出必須) GCS3/JCS300症例リスト(提出不要・院内集計用)ツール フローチャート 症例追加の ...

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

5. 症例の追加方法

5.1 新規症例の追加（入力フォーム使用）

シートの二枚目である「GCS3/JCS300 症例リスト(提出不要・院内集計用)ツール」を開き、左上にある「追加」ボタン（器質的脳障害を伴う GCS3/JCS300 を認めた症例を追加）をクリックしてから、表示される入力フォームにデータを入力してください。

個人識別番号	年齢	性別	入院日	原疾患	その他の詳細	最終転帰	転帰確定日	脳死を認めている可能性 (瞳孔散大・固定・自発呼吸消失)	情報提供	多臓器での終末期診断	除外基準	除外
例	33	男	2022/1/1	脳血管障害		死亡: 脳死・臓器提供	2022/2/12	あり	なし	なし	活動性感染症	

5.2 入力フォーム

ボタンをクリックすると、「基本情報」の入力フォームが表示されますので、そこから入力を開始してください。マクロツールは「患者の状態」に応じて、必要な項目への追加入力を促します。

基本情報

個人識別番号

年齢

入院日 2024 年 月 日

性別
☐ 男
☐ 女

原疾患
☐ 脳血管障害
☐ 低酸素脳症
☐ 頭部外傷
☐ その他

患者状態
☐ 治療中
☐ 生存：終末期状態 ※最終転帰が確定したら Excelの予後を変更してください
☐ 生存：改善・安定
☐ 死亡：心臓死
☐ 死亡：脳死・臓器提供
↑以降の入力は不要です

キャンセル OK

基本情報	脳死を経ている可能性	情報提供の
転帰確定日	脳死を経ている可能性（瞳孔散大・固定・自発呼吸消失）	情報提供
2022/2/12	あり	なし

入力に誤りがあった場合は、一覧表（テーブル）内の該当箇所を後で手動で修正することができます。

5.3 最終転帰の変更

すでに追加された症例に対して転帰の変更を行いたい場合、該当症例の「最終転帰」、「脳死を経ている可能性」、「情報提供の有無」を、プルダウンメニューから選択して変更してください。それ以降の項目については、直接入力するか、プルダウンメニューから選択して入力してください。

基本情報

他の詳細 ▼	最終転帰 ▼	転帰確定日 ▼
	死亡：脳死・臓器提供	2022/2/12
	▼	
	治療中	
	生存：改善・安定	
	生存：終末期状態	
	死亡：心臓死	
	死亡：脳死・臓器提供	

「治療中」及び「生存：終末期状態」の症例について、最終転帰が決定した場合は、まず「最終転帰」をプルダウンメニューから変更してください。最終転帰を選択すると、その転帰に応じた必須項目が含まれるフォームが自動で表示されます。

器質的脳障害を伴う GCS3/JCS300 を認めた症例を追加

この列は削除しないでください。追加症例追加・削除も可能です。

個人識別番号	年齢	性別	入院日	既往歴	その他の詳細	最終転帰	転帰確定日	脳死を経ている可能性 （脳死診断・確定・自覚神経消失）	情報提供の有無	多臓器移植の供
001	23	男	2022/2/1	脳血管障害		死亡：脳死・臓器提供	2022/2/12	あり	なし	なし
002	11	女	2024/2/1	脳血管障害		治療中				

5.3 新規症例の追加（入力フォーム不使用）

フォームを使用しない直接入力も可能です。番号、年齢、日付、自由記載の欄を除き、他の項目にはプルダウンメニューが設置されていますので、ぜひ活用してください。手動で入力する場合やプルダウンメニューから選択する場合、データは既存の表（テーブル）に自動的に集約されます¹。なお、**新規症例を手動で追加する際は、テーブルから行間を空けずに入力してください**。行を空けて入力した場合、テーブルがオートコレクトできず、結果としてデータが誤って上書きされる恐れがあります。

個人識別番号	年齢	性別	入院日	原因疾患	その他の詳細	臓器献体	献体決定日	脳死を認めた後、臓器提供
例	33	男	2022/1/1	脳血管障害		死亡・脳死・臓器提供	2022/2/12	あり

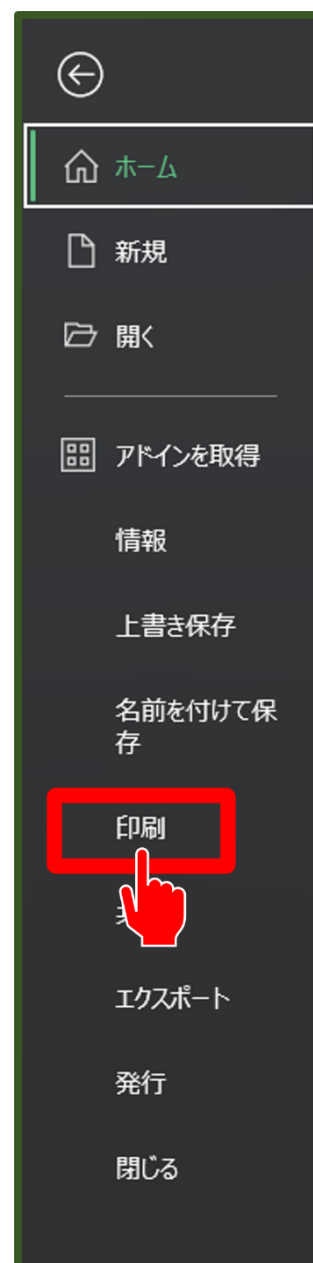
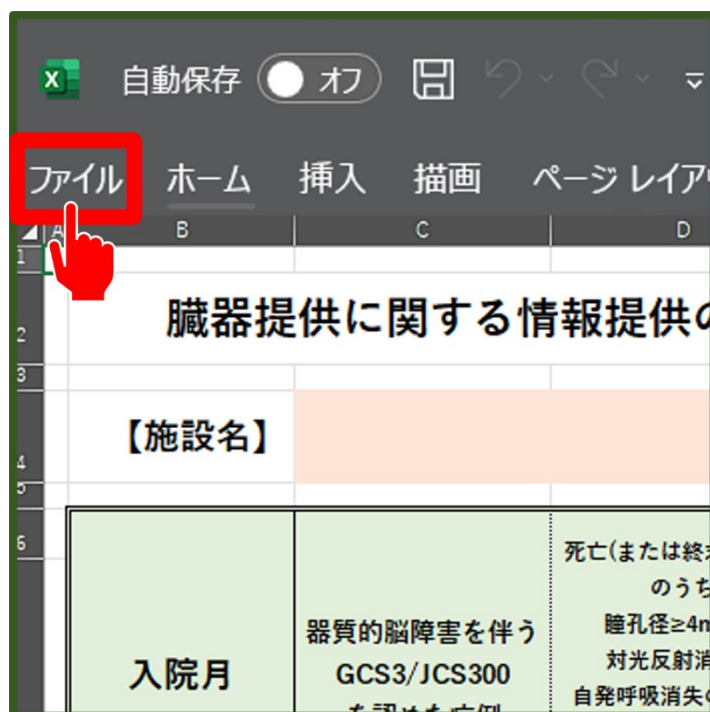
¹ オートコレクト：テーブル内でのデータ入力や編集時に自動的にフォーマットを整えることができます。例えば、テーブル内に新しい行を追加する際、オートコレクト機能により、直前の行のフォーマットや式が新しい行に自動的に適用されます。

6. PDF への変換方法

「実施状況報告書（提出必須）」（シート 1 枚目）のご提出に際しては、PDF 形式に変換または印刷する必要があります。PDF への変換には、任意のソフトウェアや方法を使用して構いません。以下「Microsoft Print to PDF」を使用した具体的な操作手順を示します。

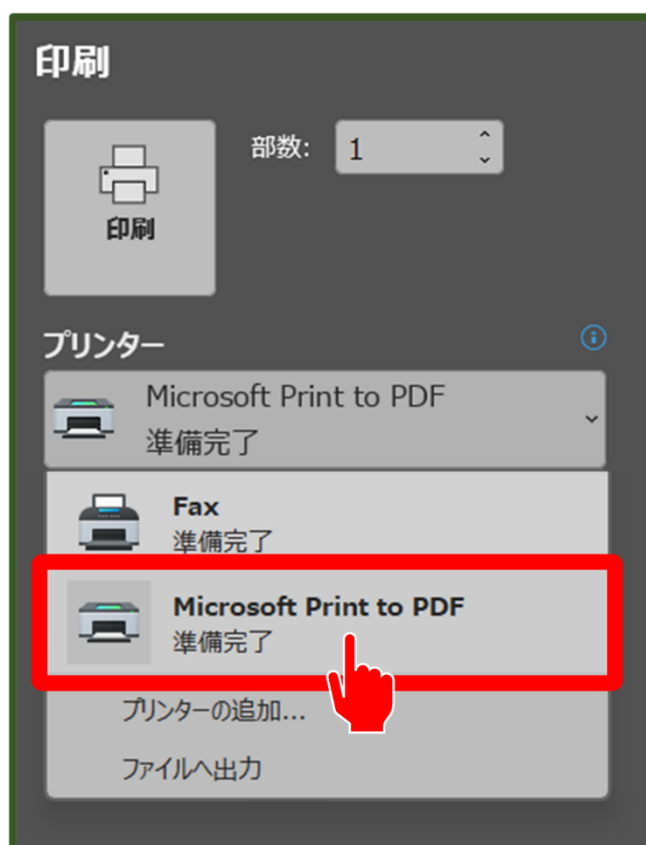
6.1 印刷メニュー

左上にある「ファイル」をクリックし、続いて「印刷」を選択してください。



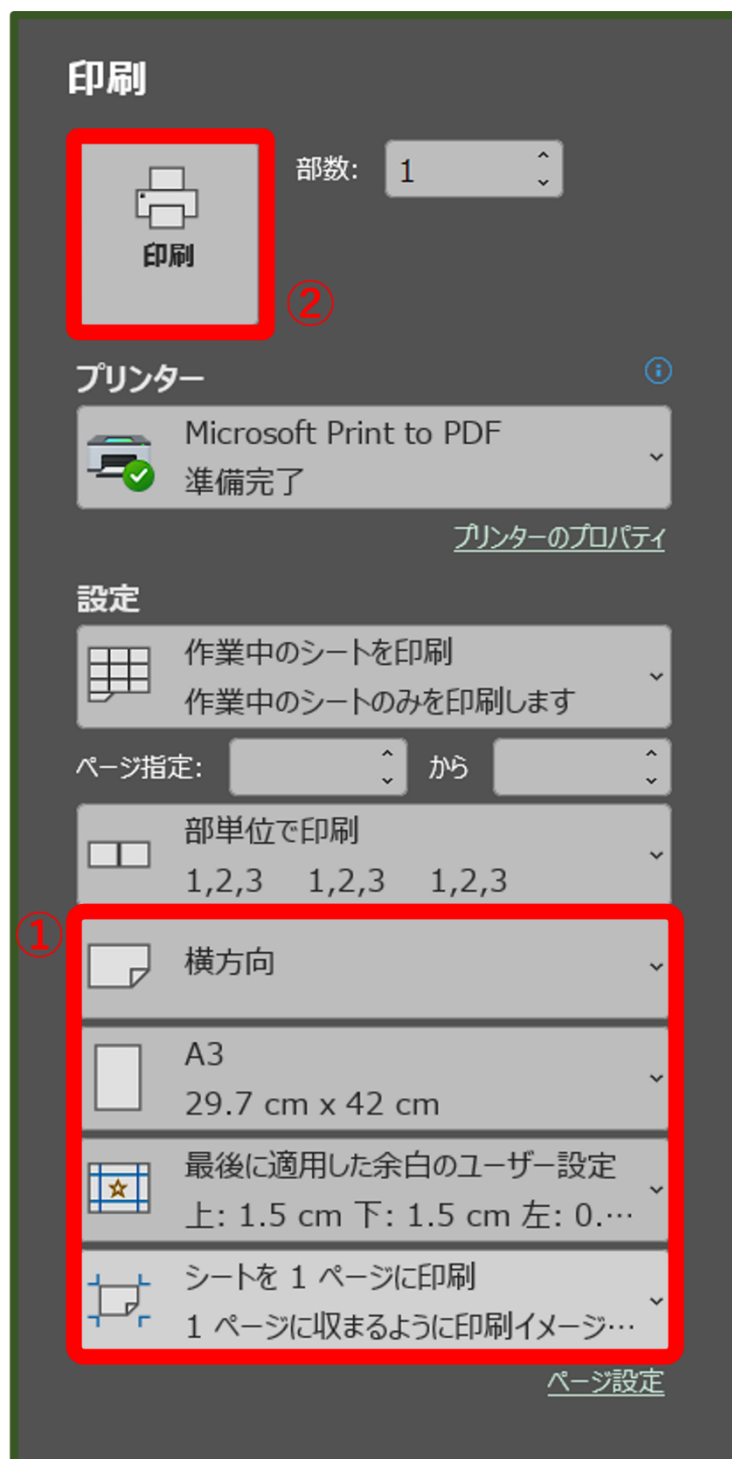
6.2 Microsoft Print to PDF

プリンターの一覧から「Microsoft Print to PDF」を選択してください。



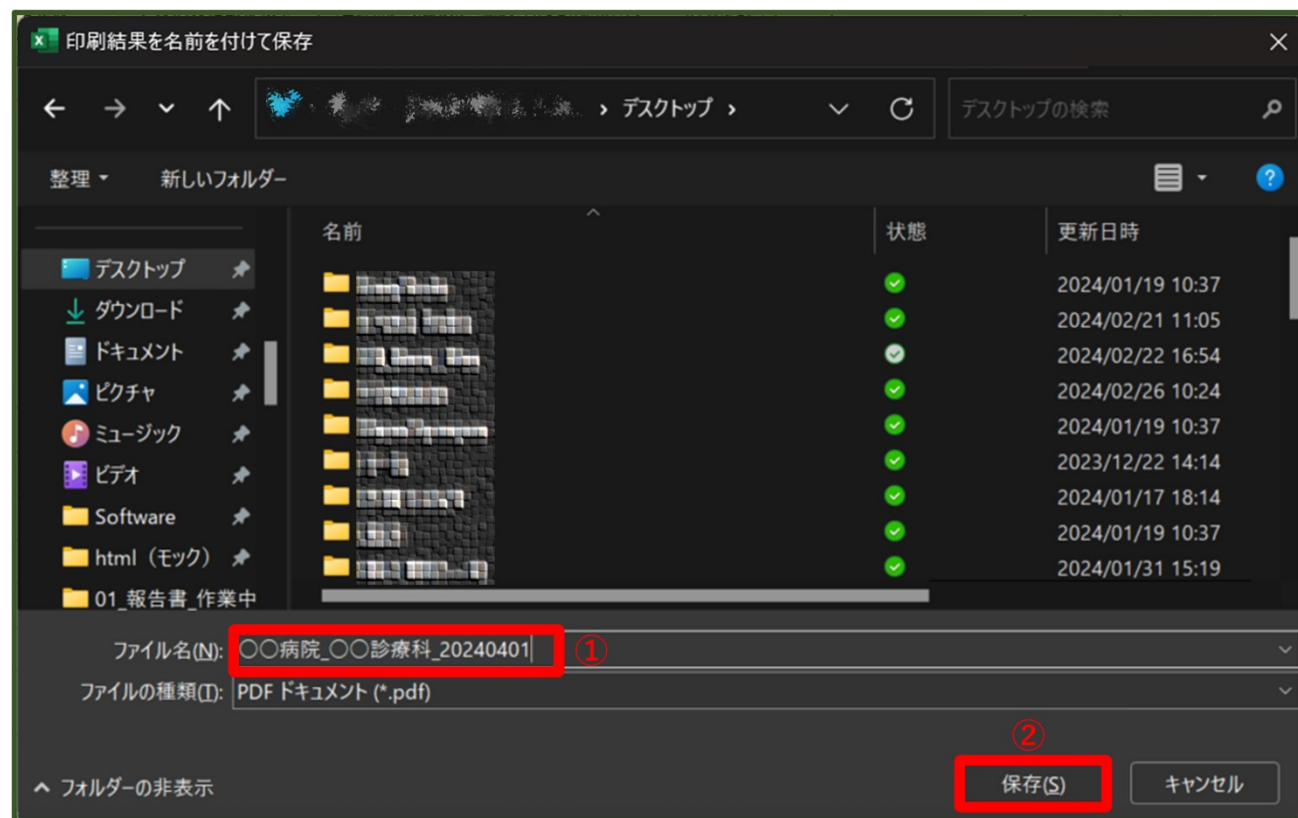
6.3 印刷（PDF）の設定

設定と印刷プレビューを確認し、すべてが正しいことを確かめたら、「印刷」ボタンをクリックしてください。



6.4 ファイルの場所

ファイル名をわかりやすく命名し、保存する場所を適切に選択した後、「保存」ボタンをクリックしてください。



PDF ファイルまたは印刷物の送付先については、[本書末尾のセクション 7.6](#)をご確認ください。

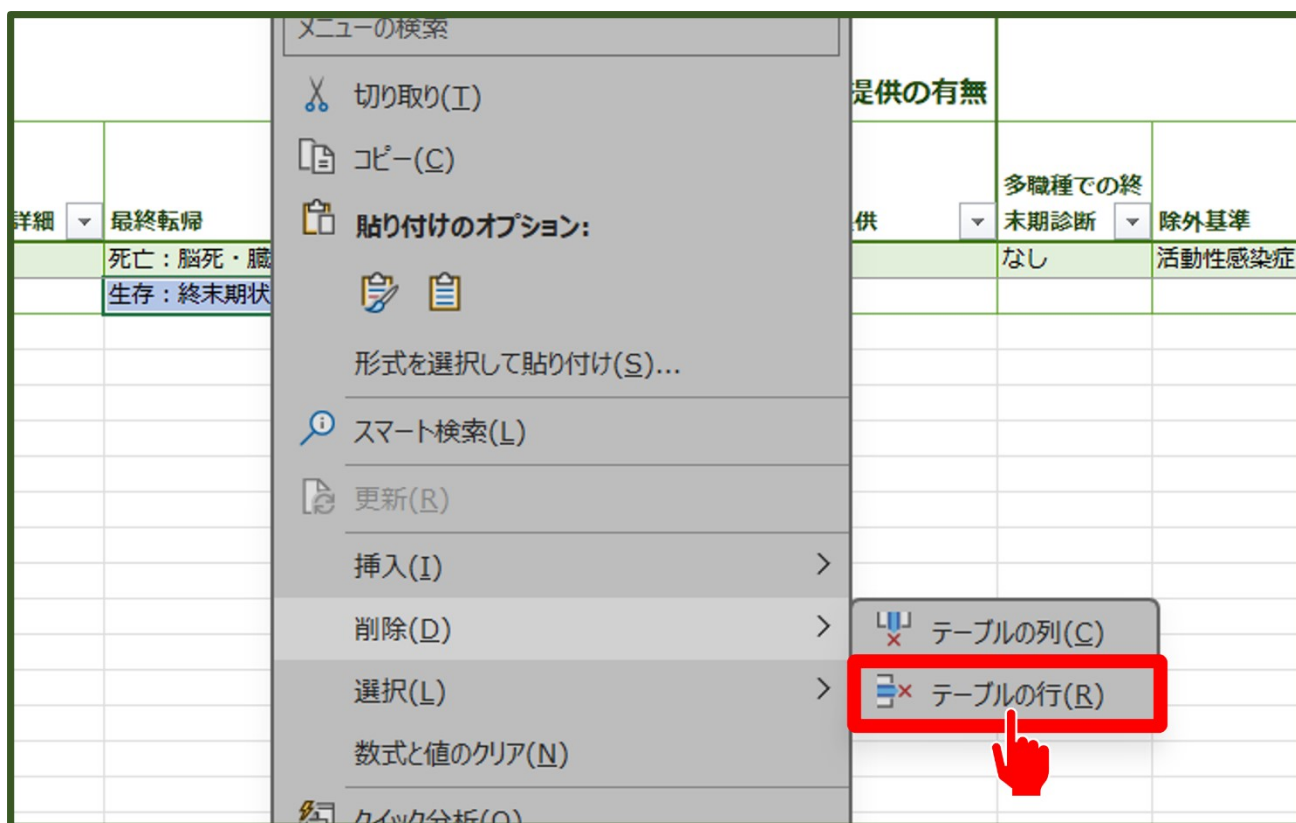
7. サポートについて

7.1 入力ミスが発生した場合

>フォームでの入力中にミスが発生した場合は、フォームを閉じることなく、最後まで入力を完了させてください。該当するセルは後から手動で修正することが可能です。

7.2 症例を削除する場合

>テーブル内の該当する症例の行にある任意のセルを選択し、右クリックから「削除」→「テーブルの行」を選択してください。ただし、最上行にある「例」の行は削除しないように注意してください。



7.3 テーブルのカスタマイズを行う場合

>テーブルに列を挿入する行為は統計データの誤計算を引き起こす可能性があるため、列名の変更は避けてください。情報の追加やファイルのアレンジは、テーブル範囲外で行うようにしてください。この際、[セクション 2](#)に記載された注意事項を参照し、マクロの正常な動作に影響を与えない範囲でのカスタマイズを心掛けてください。

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ Custom コメント 共有

検索可能な列名も表示
GCSS/ICS300
を指定して列名を表示

この列は検索可能になっています
検索可能な列名、変更可能な列名

基本情報

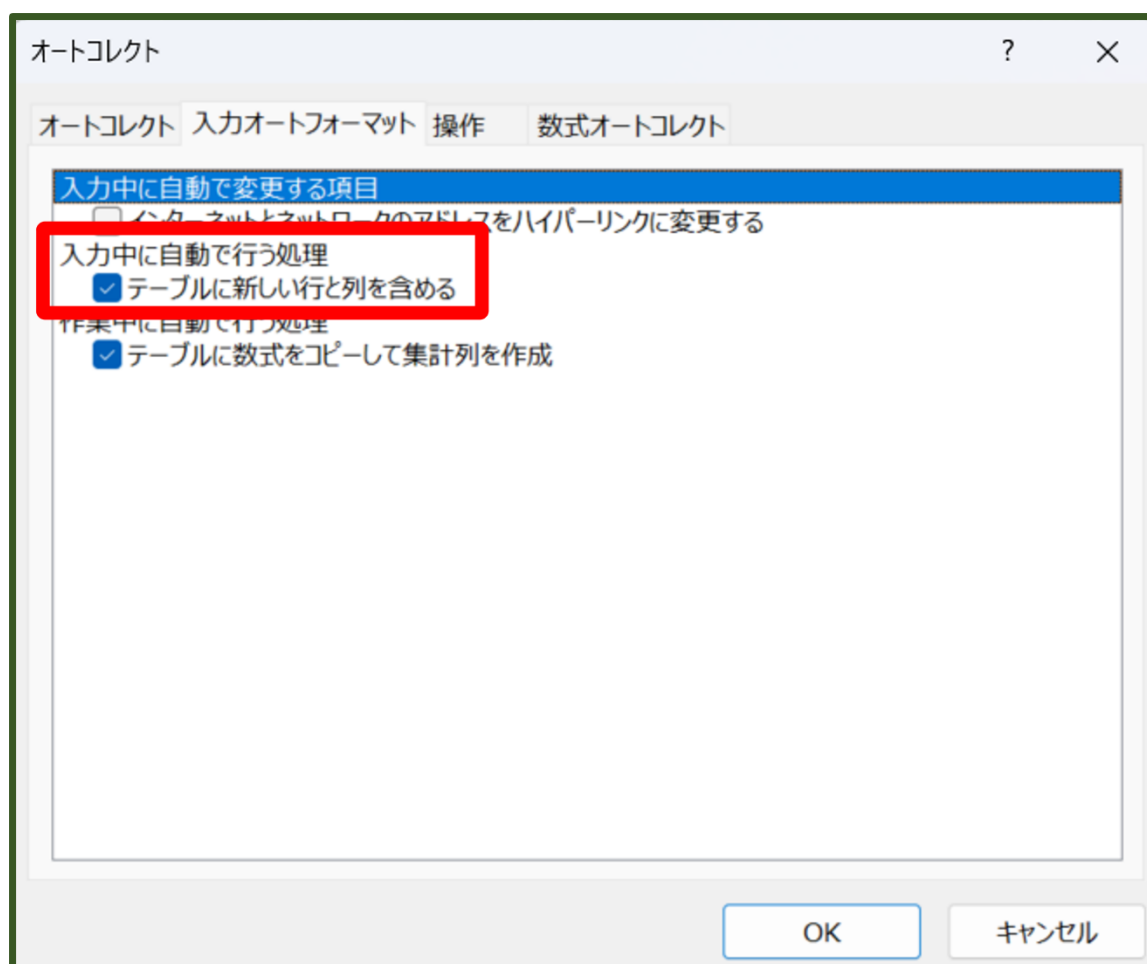
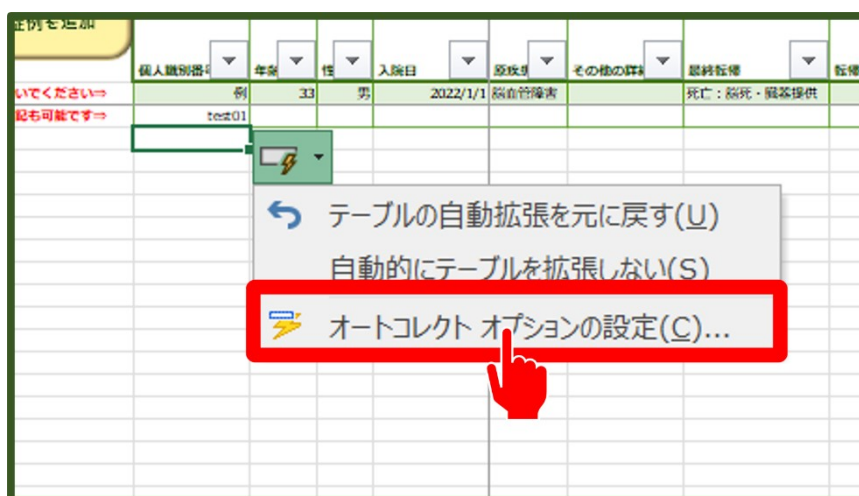
統計データ

テーブル内の列名や項目の変更は避けてください

テーブルの外であれば、任意の編集は可能です。

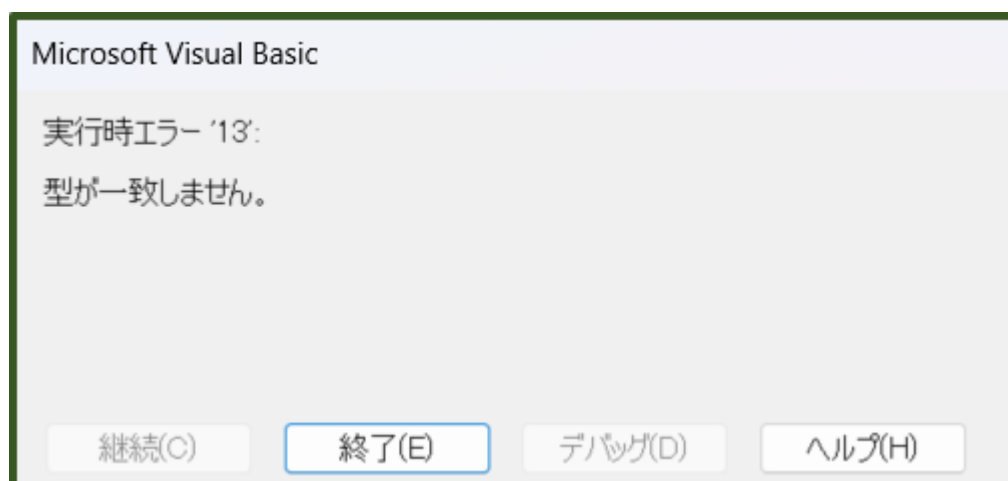
7.4 入力したデータが上書きされてしまう場合

>手動で入力したデータがフォームによって上書きされてしまう場合、手動で追加したデータは通常自動的にテーブルに組み込まれます。しかし、「テーブルの自動拡張」機能がオフになっていると、入力されたデータがテーブルに追加されず、新しいデータに上書きされてしまう可能性があります。この問題を防ぐためには、以下の手順で「テーブルに新しい行と列を含める」オプションにチェックが入っているか確認してください。



7.5 「Microsoft Visual Basic」エラー

> 「Microsoft Visual Basic」のタイトルでエラーが発生した場合は、「終了」ボタンをクリックし、データを手動で入力してください。エラーが繰り返し発生する場合は、操作手順を記録し、[セクション 7.6](#)に記載されている問い合わせ先までご連絡ください。



7.6 ご要望やお問い合わせについて

この Excel ファイルの操作で不明点が生じた場合や、マクロに追加したい機能がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

事業推進本部 あっせん事業部

事業管理グループ

臓器提供施設連携体制構築事業 担当

jigy@jotnw.or.jp

TEL : 03-5446-8821

※お問い合わせの際は、問題を明確に伝えるため、画面のハードコピーまたはスクリーンショットを準備してからご連絡ください。